

# みえ熊野古道 商工会



所在地：三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区長島2141  
 建築面積：532㎡  
 延床面積：532㎡  
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上3階建  
 施主：みえ熊野古道商工会  
 設計：堀内設備設計  
 施工：建築/南藤村工業  
 電気/藤堂前電気商会  
 完成年月：平成26年3月

S277

熊野古道が世界遺産に登録されて10周年を迎える記念すべき年に  
 紀北町商工会と御浜町商工会は全国初の飛び地合併を行い「みえ熊野古道商工会」として発足。  
 移転改修した施設の照明は、環境対策とともに大幅な消費電力の削減を可能とするLEDベースライトを採用。

## 「世界遺産・熊野古道」をコンセプトとし 経営支援事業・地域振興事業を展開

旧紀北町商工会館の老朽化に伴い、紀北町役場の旧紀伊長島総合支所を借用し、改修移転。地域唯一の総合経済団体として、地域の小規模事業者の経営上の問題解決や新たな事業展開を積極的に支援しています。さらに地域経済の発展や維持、貢献のため様々な経営支援事業、地域振興事業を展開するとともに、地域コミュニケーション事業も強化し活力あるまちづくりを目指しています。

内装は、有名な「尾鷲ヒノキ」を事務所のデスク、書庫、壁面等にふんだんに使用して木の温もりを感じる空間を創出し、「世界遺産・熊野古道」のイメージアップを図っています。また、商工会を情報発信基地として、地元の食材を使った料理番組や会員企業、商店、街の紹介などのためインターネット動画の番組の制作発信スタジオを開設。地域の観光などの情報を全国に発信し、地域の活性化に寄与しています。



LEDベースライトAQシリーズを採用した執務室のデスクをカウンター越しに望む

## スリムな形状で天井面も明るくする LEDベースライトAQシリーズを多用

施設内の照明は、事務所や会議室、相談室などには省エネ性能が高いのはもちろん、スリムな形状で空間にスッキリ馴染むとともに、反射板・天井面まで光がまわり空間に広がり感をつくり出すLEDベースライトAQシリーズ直付形(消費電力59W)を中心に採用。器具幅120mm(蛍光灯器具より25%スリム)の薄さ感で天井面にスッキリとした印象を与えています。これにより、これまで一般に使用されているHf32W×2灯用蛍光灯器具と比較して、ほぼ同等の明るさを確保(平均照度700ルクス)しつつ約34%の省エネを可能にしています。

そのほか、会長室にはLEDベースライトAQシリーズ直付形バツフル付調光タイプ(消費電力64W)を採用。器具高さを感じさせない薄形デザインで天井に違和感なく溶け込んでいます。受付カウンターや移動空間にはLED一体形ダウンライト1500シリーズ(消費電力14.6W)を、エントランスの吹抜空間の天井には高出力タイプのLED一体形ダウンライト9000シリーズ(消費電力92W)と、長寿命のLEDシャンデリアを採用しています。



LEDベースライトAQシリーズによる会議室の照明



LEDベースライトAQシリーズ直付形40タイプ



インターネット動画の番組の制作発信スタジオのLED照明



エントランスの吹抜天井に設置された高出力タイプのLED一体形ダウンライト9000シリーズと長寿命のLEDシャンデリア



事務所の照明 ベースライトにはLEDベースライトAQシリーズ直付形、カウンター上にはLED一体形ダウンライトを配置



執務室内のLED照明の様子



相談室周辺のLED照明



書架周辺のLED照明



LEDベースライトAQシリーズスクエア器具パツル付を採用した会長室

主な納入器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	LEDベースライトAQシリーズ	LEDT-41701NK-LS9	59	LED 消費電力:59W
		LEDT-156511NK-LD9	6	LED 消費電力:64W
	LEDダウンライト1500シリーズ	LEDD-15021MN-LS9	16	LED 消費電力:14.6W
	LEDダウンライト9000シリーズ	LEDD-95021N-LD9	8	LED 消費電力:92W